

2011年12月6日

リチウムイオン電池用負極材の中国における製造能力倍増について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「当社」)は、当社の100%子会社である青島雅能都化成有限公司(所在地:中華人民共和国山東省青島市平度市、社長:増田 剛)におけるリチウムイオン電池用負極材の製造能力倍増を決定しました。

青島雅能都化成有限公司は現在、年産4,000トンの負極材製造設備を有しています。このたび、本格的に市場が拡大する車載用途やスマートフォン用途などに対応するため、約15億円を投じて製造能力を4,000トン増強し、2012年秋に年産8,000トンとすることを決定したものです。

当社は、他社に先駆けて中国における負極材の製造能力を増強することにより、いっそうの競争優位性を確保します。

また、さらなる増設も視野に入れ、隣接する将来用地を既に取得しています。

当社はリチウムイオン電池の主要4材料(電解液・負極材・正極材・セパレータ)すべてを取り扱う企業として、お客様のニーズに合った最適な組合せを提案してゆくとともに、安定した品質と国内外にわたる万全の供給体制を整え、電池材料事業のさらなる拡大に努めてまいります。

以上

【ご参考】

三菱化学が販売するリチウムイオン電池主要 4 材料の製造能力増強計画

(単位:セパレータのみ「平方メートル/年」・それ以外は「トン/年」)

	製造能力と 立地	決定済みの増強計画と 立地・稼動開始時期	2015 年時点の 目標能力
電解液	8,500 四日市事業所	増設 + 5,000 四日市・12 年春 新設 + 10,000 英国・12 年春 新設 + 10,000 米国・12 年夏 新設 + 10,000 中国・12 年末	50,000
負極材	7,000 坂出事業所 4,000 中国	増設 + 4,000 中国・12 年秋 (本日発表)	35,000
正極材	2,200 水島事業所	未定	15,000
セパレータ	1,200 万 三菱樹脂(株) 長浜工場	増設 + 1,500 万 三菱樹脂(株)長浜工場 12 年夏	7,200 万

本件に関するお問合せ先
三菱化学(株)広報室 電話:03-6414-3730